



1 集いの場

| | (1)いきいき百歳体操 (か所) | (2)子育てサークル・子 育て支援サークル (登録団体数) | (3)地域子育て支援セン ター(か所) | (4)子育てサロン(か 所) | (5)子どもの居場所・子 ども食堂(か所) | (6)サロン(か所) | (7)認知症カフェ (か所) | (8)地域交流デイサー ビス【ミニデイ】 (か所) | (9)宅老所(か所) | (10)その他:いきいき 百歳大交流大会 |
|-----|---------------------|-------------------------------------|------------------------|-------------------|--------------------------|------------|-------------------|---------------------------------|---------------------|-------------------------|
| | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度開催数 |
| | 高齢者支援課把握数 | 子ども育成課登録数 | 子ども育成課設置数 | 市社協把握数 | 市社協把握数 | 市社協把握数 | 高齢者支援課把握数 | 高齢者支援課把握数 【補助事業】 | 高齢者支援課把握数 【委託事業】 | 高齢者支援課把握数 |
| H30 | 366 | 23 | 14 | 18 | 28 | 75 | 27 | 38 | 22 | 1 |
| R1 | 374 | 21 | 14 | 20 | 36 | 86 | 23 | 34 | 22 | 1 |
| R2 | 365 | 19 | 15 | 20 | 36 | 88 | 24 | 35 | 22 | 0 |

- (1) **いきいき百歳体操**：いきいき百歳体操は、米国国立老化研究所が推奨する運動プログラムを参考に、平成14年に高知市が開発した重りを使った筋力運動の体操であり、住民主体の介護予防活動として市内へ広がっている。
- (2) **子育てサークル・子育て支援サークル**：子育て中の保護者または、子育て中の親子を支援する方が、親子同士の交流や子育て中の家庭への様々な支援活動を、ふれあいセンター等の建物を活用して、開催している。
- (3) **地域子育て支援センター**：地域の身近な場所で、子育ての支援を担う施設で、乳幼児のいる子育て中の保護者を対象として、親子の交流の場の提供や育児相談、子育てに関する情報提供等を行っている。各センターがそれぞれ特色のある取り組みを進めている。
- (4) **子育てサロン**：地区民児協や地区社協などが中心となり、子育て中の方同士の交流と仲間づくりの場としてふれあいセンター等の建物を活用し、開催している。
- (5) **子どもの居場所・子ども食堂**：子ども食堂は、子どもが一人でも気軽にご飯を食べに行ける場所として、無償または低額で食事を提供している。子どもに限らず、食を通じた地域の集いの場になっている。
- (6) **サロン**：身近な地域でご近所さんが集まり、お茶や食事をしたり、話をしたりして、交流する場。
- (7) **認知症カフェ**：認知症の方が住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らしていける環境づくりの取り組みとして、専門職や地域住民が協働し、認知症の方や介護者が参加し、相談や交流ができる場。
- (8) **地域交流デイサービス（ミニデイ）**：高齢者が地域で交流することで、閉じこもりを防ぎ、お互いに助け合うことにより、住み慣れた家庭や地域で豊かな生活が送れる高齢者自身の手による支援ネットワークづくりを促進することを目的とした制度。
- (9) **宅老所**：民家や老人福祉センター等を活用し、利用される方々がなごやかに思い思いの一日を過ごす通所事業。介護保険の通所サービスとは異なり、少人数で家庭的な雰囲気の中で和気あいあいとした時間を過ごすことができる。
- (10) **いきいき百歳大交流大会**：いきいき百歳体操のお世話役やサポーター、体操参加者が一堂に会す、交流大会。主催は、いきいき百歳大交流大会実行委員会。

2 見守り

| | (11)あんしんキット (年度毎の配布数) | (12)福祉委員 | (13)気くばりさん | (14)生活支援ボランティア | (15)避難行動要支援者 対策 | (16)自主防災組織 |
|-----|--|---|------------------------|----------------|------------------------------------|----------------|
| | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度3月末時点 | 各年度4月1日時点 |
| | 市社協把握数(※が新規配布地区) | 市社協委嘱数 | 市社協登録数 | 市社協登録数 | 地域防災推進課実施数 | 地域防災推進課把握数 |
| H30 | 5地区260本 (詳細) 旭150本 江ノ口20本 鴨田20本 一宮70本 介良150本 | 12地区181名 (詳細) 旭13名 江ノ口東29名 北街9名 鴨田57名 初月11名 鏡17名 布師田21名 大津5名 朝倉5名 ※小高坂1名 高知街1名 一宮12名 | 市内564名 (市外含む総数632名) | | 14地区 (名簿提供まで済) | 794団体 94.9% |
| R1 | 3地区90本 (詳細) 小高坂50本 高知街10本 一宮70本 | 14地区160名 (詳細) 旭15名 江ノ口東16名 北街8名 鴨田44名 長浜4名 初月11名 鏡16名 布師田22名 大津6名 朝倉7名 小高坂1名 高知街1名 一宮7名 ※五台山1名 | 市内631名 | | 28地区 (名簿提供まで済) | 807団体 95.1% |
| R2 | 3地区173本 (詳細) 朝倉33本 長浜30本 一宮110本 | 13地区143名 (詳細) 旭15名 江ノ口東16名 北街7名 鴨田35名 長浜3名 初月11名 鏡16名 布師田18名 大津6名 朝倉7名 高知街1名 一宮7名 五台山1名 | 市内559名 | 市内38名 | 40地区名簿提供 5地区個別計画策定推 進(モデル地区) | 816団体 96.0% |

- (11) **あんしんキット**：救急医療情報キット 緊急時の備えとして、緊急連絡先やかかりつけ医、服薬内容等の情報をキットの中に入れて冷蔵庫の中に保管することにより、救急時に駆けつけた救急隊等が、冷蔵庫の中の救急医療情報キットを取り出し、情報を入手することで、迅速な対応に繋げるもの。
- (12) **福祉委員**：地域で福祉活動をされている人で地区社会福祉協議会から推薦をされ、市社協から委嘱をされた人。
- (13) **気づきさん**：できる人ができるときにできることをするボランティアで、市社協ボランティアセンターへ登録をした人。
- (14) **生活支援ボランティア**：既存の制度や福祉サービスでは対応しきれない、生活上のちょっとした困りごとをお手伝いしてくれるボランティア。「得意なこと、できること」を活かして「できる範囲で」で活動している
- (15) **避難行動要支援者対策**：H26.4に改正災害対策基本法が施行されたことに伴い、H26.12より高齢者や障害者などの方々を災害時に支援するため、避難行動要支援者名簿を活用し、災害時の避難等の際に可能な限り地域で支援を受けられるよう、平常時の見守りと災害時の安否確認などの支援を行う際に活用されるもの。
- (16) **自主防災組織**：自主防災組織とは、地域において住民が協力・連携して自主防災活動を行うために、学区や町内会活動区域などを単位として、その地域住民で結成する組織。

3 話し合いの場

| | (17) 地域内連携協議会 (小学校区) | (18) 学校支援地域本部事業 ※令和3年度より地域学校協働本部事業 | (19) 地域ケア会議 | (20) 地区社連情報交換会 | (21) ほおっちょけんネットワーク会議 |
|-----|---|---|-------------|----------------|----------------------|
| | 各年度3月末時点 | 各年度実施校 | 高齢者支援課実施数 | 市社協把握数 | 各年度実施回数 |
| | 地域コミュニティ推進課登録数 | 学校教育課 | 高齢者支援課実施数 | 市社協把握数 | 市社協把握数 |
| H30 | 23地域 布師田／土佐山／浦戸／昭和下知地区／小高坂／横浜／朝倉／朝倉第二／久重／初月／三里／十津／第六／五台山／鏡／横浜新町／長浜／秦／潮江南／一ツ橋 ※新規3地域 江陽／潮江／鴨田 | 18校 うち小学校9校 五台山／春野東／秦／江陽／旭／布師田／一ツ橋／十津／横内 うち中学校2校 西部／一宮 うち新規7校 潮江東／浦戸／一宮／鏡久重／神田 土佐山学舎 | 60回 | 4回 | |
| R1 | 27地域 ※新規4地域 行川／介良／大津 潮江東 | 22校 ※新規4校 朝倉／鴨田／潮江南 介良潮見台 | 52回 | 4回 | |
| R2 | 28地域 ※新規1地域 江ノ口 | 26校 ※新規4校 第六／小高坂／横浜 大津 | (34回) | コロナのため中止 | 2地区 5回 |

- (17) **地域内連携協議会**：地域内での各種団体や組織の連携・協力によって解決を目指していくための仕組み。おおむね小学校区をエリアとしている。
- (18) **学校支援地域本部事業**：高知市教育委員会が所管し、平成28年度から5校のモデル校で実施される。学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による学校教育の充実のための学習支援や体験活動、登下校における見守りやキャリア教育等、各地域の特色を生かした様々な地域学校協働活動を行うもの。
- (19) **地域ケア会議**：高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。地域高齢者支援センター毎に開催し、多職種の協働による個別ケース（困難事例等）の支援を通じた、地域支援ネットワークの構築や高齢者の自立支援に資するケアマネジメント支援、地域課題の把握などを行うもの。
- (20) **地区社連情報交換会**：地区社協間相互の情報交換と連携強化を目的として行う情報交換会。
- (21) **ほおっちょけんネットワーク会議**：ほおっちょけん相談窓口に寄せられる相談内容や住民が日常的に見聞きする困りごと等の共有を図りながら、参加者自らが解決の主体となって新たなつながりや社会資源を生み出していくための話し合いの場。

4 学び

| | (22)ふれあい体験学習 (年度毎の受講者) | (23)ほおっちょけん 学習 | (24) ほおっちょけん グッズ | (25) NEWS ほおっちょけん | (26)高校性の福祉体験 学習 (年度毎の受講者数) | (27)その他 |
|-----|--|---|---------------------|---|----------------------------------|--|
| | 各年度実施回数・参加者数 | 各年度実施回数 | 各年度配布数 | 各年度配布数 | 各年度実施回数 | |
| | 障がい福祉課把握数 【委託事業】 | 市社協実施数 | 市社協実施数 | 市社協実施数 | 市社協実施数 | 市社協把握数 |
| H30 | 小学校32校4,092名 中学校2校624名 高校3校367名 合計5,083名 | 保育園7園--名 小学校7校--名 ◆福祉教育連携授業 春野高校 | ほおっちょけんバッジ 576個 | 41~52号 8,738部 | 実施していない | ◆認知症サポーター ---- |
| R1 | 小学校32校3,887名 中学校2校189名 高校2校301名 一般40名 合計4,417名 | 幼稚園1園37名 保育園7園182名 小学校10校611名 ◆福祉教育連携授業 春野高校 | ほおっちょけんバッジ 136個 | 発行停止 ※広報戦略プランにて検討 中。ボランティア情報は提供 中。 | | ◆認知症サポーター 鏡小学校、旭小学校、 浦戸小学校、鏡中学 校、高知大学、地域の サロン他 |
| R2 | 小学校31校3,909名 中学校2校423名 高校3校319名 一般20名 合計4,671名 | 幼稚園1園27名 保育園2園56名 小学校3校209名 児童館1ヶ所18名 専門学校1ヶ所40名 企業2社15名 ◆福祉教育連携授業 春野高校 ほおっちょけん学習サポーター 49名 | ほおっちょけんバッジ 88個 | | | ◆認知症サポーター 地域のサロン他 民間企業 |

(22) ふれあい体験学習：高知市から障害者福祉センターに委託されている事業であり、車いす体験やアイマスク体験等の福祉体験学習を行うもの。

(23) ほおっちょけん学習：「ほおっちょけん」をキーワードにした子どもたちを対象に行う福祉教育（変更したいです）困っている人がいたら「ほおっちょけん」をキーワードに、他者を気遣う意識や自分が困ったときは助けてと言える助けられ上手であり助け上手の「お互いさま」の意識を育てる学習。

(24) ほおっちょけんグッズ：心の中にある「ほおっちょけん」を合言葉に、とつてもよく利くハナとアンテナで小さな困りごとを発見するキャラクター。高知大学教育学部芸術コースの学生さんがデザイン。

(25) NEWSほおっちょけん：地域福祉活動を広く市民に知っていただくことを目的に、市社協と地区社連が発行。概ね2カ月に1回、2号ずつ発行している。

(26) 福祉体験学習：H25～26年ワークキャンプで2泊3日の合宿研修。H27～「ほおっちょけんのススメ」高校生が身近な地域にある高齢者や障害者の施設のボランティアを行う体験学習。